

今後のワクチン接種スケジュール

市では65歳以上の方から順次ワクチン接種を実施しています。65歳以上の方の接種が終わったあと、基礎疾患のある方、一般の方と順次接種を行います。現在はワクチンの供給量が限られていますが、国の方針では、令和4年2月末までに皆さんのワクチンが供給されますので、ご安心ください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月～
医療従事者など	→					
高齢者施設入所者		→				
高齢者向け優先接種		→				
一般の方（高齢者施設などの従事者）			→			
一般の方（基礎疾患のある方、60～64歳の方）				→		
一般の方（それ以外の方）					→	

※スケジュールは変更になる場合があります

基礎疾患のある方はかかりつけ医に相談しましょう

65歳以上の方、高齢者施設などの従事者の接種に続いて、基礎疾患をお持ちの方の接種を7月中旬ごろから開始しますので準備が整いしだいクーポン券を発送します。基礎疾患をお持ちの方は、接種可能か事前にかかりつけ医に相談してください。

1 令和3年度中に65歳に達しない者であって、以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

- 慢性の呼吸器の病気
- 慢性の心臓病（高血圧を含む）
- 慢性の腎臓病
- 慢性の肝臓病（肝硬変等）
- インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病または他の病気を併発している糖尿病
- 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く）
- 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む）
- ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
- 染色体異常
- 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態）
- 睡眠時無呼吸症候群
- 重い精神疾患《精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、または自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合》や知的障害（療育手帳を所持している場合）

2 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

ワクチンに関する主なQ&A

接種を受けるにあたって

Q ワクチン接種を受けるかどうか迷っている。受けないことで不利益はあるのか

A 新型コロナウイルスワクチンは発症や重症化予防が期待され、皆さんに接種をお勧めしていますが、強制ではありません。感染症予防と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただき、ご自身の意思で接種を受けるかどうかご判断ください。

Q ワクチン接種を集団接種と医療機関での個別接種のどちらで受けたらよいか

A 個別接種を選択した場合は、かかりつけ医などで接種を受けることができます。
集団接種の場合は、1日あたりの接種数が多いことから、日付の選択肢が広がる可能性があります。また、5月28日から、自衛隊東京大規模接種センターでの予約が可能となったため、選択肢の一つとして考えられます。1日も早い接種を望む場合、または、かかりつけ医でより安心して接種を受けたい場合など、ご自身のご希望や予約の状況などを勘案したうえで、ご自身で接種会場を選択してください。

Q 日本に住む外国人も対象なのか

A 居住の実態が確認できる方は接種を受けることができます。

予約に関すること

Q 個別接種はどの年代でも受けることができるのか

A 集団接種、個別接種、いずれの会場であっても政府が示す優先順位に基づいて接種を進めていきます。6月4日現在、65歳以上の高齢者を対象に接種を行っています。

ワクチン接種当日までに関すること

Q 当日までの準備で必要なことが知りたい

A 当日は接種券と本人確認ができるもの（運転免許証、パスポート、マイナンバーカード、健康保険証など）が必要です。また、持病やアレルギーなど、不安な点がある方は、事前にかかりつけ医へご相談ください。

ワクチン接種を受けた後に関すること

Q ワクチン接種を受けたことを証明する書類はあるか

A 現在は、接種後の接種券が証明書になりますが、今後は、国の方針に沿って証明書の発行について決定します。

ワクチン副反応のお問い合わせ

千葉県新型コロナワクチン副反応専門相談窓口

☎03・6412・9326 (24時間対応)

基礎疾患などのお問い合わせ

厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター

☎0120・761・770 (午前9時～午後9時)